



研究プロジェクト名

環境・医療分野の国際研究開発・実証プロジェクト／アジアにおける先進的な資源循環システム国際研究開発・実証

※当該プロジェクトへの追加を検討している研究開発項目②-2「工業廃液等の適正処理及び再生・循環利用技術」について記載。

研究目的

○背景、目的、必要性(政策的位置付け、市場ニーズ、技術ニーズ)

- ・アジア新興国では、石油精製会社、製紙会社等から排出される廃油、廃液、汚泥などの産業廃棄物が、下水汚泥と並んで無害化处理がなされずに埋立てが行われる等、環境悪化が問題となっている。
- ・また、我が国の中小企業は、工場等から排出される廃油、廃液、汚泥を適正処理し、再生利用する技術を開発しており、これらの技術の海外展開を模索中。
- ・我が国発の環境配慮型の産業廃棄物を活用した適正処理及び再生・循環利用技術を現地に導入することで、対象国、ひいては世界規模での環境負荷低減に寄与する。
- ・対象国の市場拡大に先んじて我が国のプレイヤーによる現地での操業の基盤を構築し、我が国の環境産業、特に、中小企業の海外展開を促進し、ビジネス拡大に寄与する。

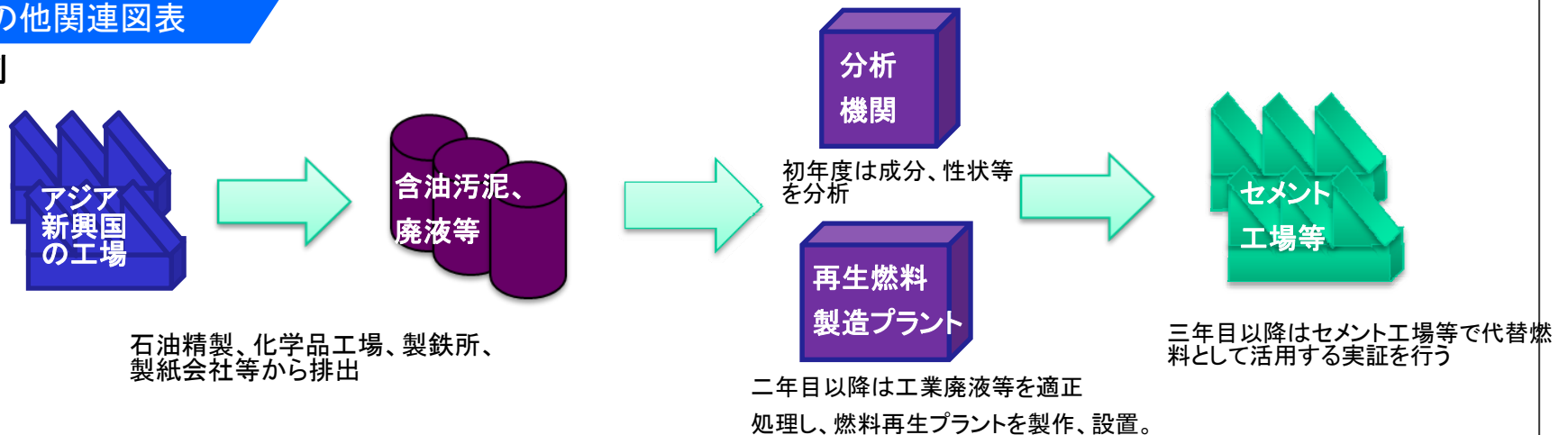
プロジェクトの規模

○事業費と研究開発期間(目安として)

- ①事業費総額2.7億円(未定) ②研究期間3年

その他関連図表

例



研究内容概略

○研究開発課題(目的達成のための技術課題)

化学品製造会社、製紙会社等から排出される廃油、廃液、含油汚泥等産業廃棄物を対象に、我が国の企業が有する高度な再生技術を活用し、現地に適した工業廃液等の適正処理、再生利用等技術を開発、実証する。

○キーテクノロジー、ブレークスルーのポイント、オリジナリティ(課題を解決するためのポイントおよびその現状)

工場等から排出されるさまざまな廃液、汚泥等を対象に安定した品質の再生燃料等を確保するための配合とミックシング及びカロリー調整

研究開発の目標

○最終年度における数値目標やアウトカム目標等

本事業は現地の工業廃液等再生利用産業の効率化、環境負荷の低減に資する。また、本事業を通じて、我が国の再生燃料製造技術を普及させ、アジア新興国での利用拡大により、ビジネス拡大、我が国の資源確保にも貢献できる。